

研修等 報告書

30年 8月 3日

三田市議会議長 今 北 義 明 様

私は、研修等報告書を下記のとおり提出します。

会 派 名	市民の会	代表者		印
		議員名	佐々木 智文	印
参加者氏名	佐々木 智文 印			
講演会等研修名	第 15 回全国地方議員交流研修会			
研修事項	全体会合：トランプ政権から浮かび上がる日本の現状と課題 分科会討論：農林水産業を中心に持続可能な地域経済循環をめざす			
日 時	30年7月25日(水)～30年7月26日(木)			
場 所	遊学館：山形県山形市緑町1丁目2-36			
所 見	別紙			
添付資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修資料抜粋</li> <li>・</li> <li>・</li> <li>・ 資料は全2枚梅田議員報告書に添付</li> </ul>			

6 添付書類（講演会内容のパンフレット等）

交付対象議員は会派名、議員名を記入してください。（代表者名、参加者氏名は不要）

7月25日

◆全体会合

○記念講演 トランプ政権から浮かび上がる日本の現状と課題（船山康江参議院議員）

自国中心主義的な動きにより、国内経済の行き詰まり、労働者の不満、雇用の減少、賃金低下など、貧困の拡大が懸念される。

国際関係の軽視による移民排除、報復関税、TPP 離脱など、社会秩序を乱し、ルールを軽視している。

7月26日

◆分科会討論

○農林水産業を中心に持続可能な地域経済循環をめざす

◎置賜自給圏推進機構の活動報告（置賜地域3市5町 21万人）

・再生可能エネルギーの自給

メガソーラー発電や小型水力発電はすでに稼動している。さらに、堆肥などを利用したバイオマス発電や温泉地熱発電等の地域資源を活用した取り組みを市民と地元企業が一緒になって進める。

・循環農法と地域食料自給

学校給食はもとより、病院食、福祉施設等での地元産をさらに活用する取り組みや、生産現場では自らが循環農法の技術向上と流通改革に取り組み、農業で生活できる仕組みづくりにしていく。

・地元産木材活用による山村振興

地元産木材使用に補助金を出す等の施策が進められているが、市民の意識も薄い。その結果として、請負金額の35%はPR費用や本店維持費用になっており、ほぼ全額が中央に流れている。このことを認識して、環境保全、景観維持に加えて、山村が維持できてこそ都市が成り立つことを自覚するべき。

・運動の核は協同組合活動

今、農協等の協同組合は経営が極めて厳しい状況にあると聞く。経済優先が地方経済を疲弊させている。

農業政策において、地域での一次産業の確保は、農業者の育成や指導に行政がもっと関わり、生産者に寄り添った施策を構築しなければならないと感じた。これらの事例をもとに三田市に助言ができるようにしていきたいと思います。

# 第 15 回全国地方議員交流研修会 in 東北

2018 年 7 月 25 日～27 日

## プログラム

---

7 月 25 日 (水)

全体会合

山形市：遊学館 大ホール

名刺交換会

ホテル 山形グランドホテル3階 白鳥の間

7 月 26 日 (木)

分科会 (遊学館)

第 1 分科会 / 2 階 学習室

第 2 分科会 / 2 階 第 5 研修室

第 3 分科会 / 3 階 特別会議室

第 4 分科会 / 3 階 第 1 研修室

全体会合 (2 階第 5 研修室)

7 月 27 日 (金)

東日本大震災被災地現地視察